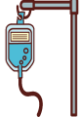


トラスツズマブの治療を受ける方へ



トラスツズマブは、腫瘍化した細胞の表面にある、HER2という目印のあるタンパク質にくっつくように作られた薬です。腫瘍を小さくしたり、広がるのを抑えたり、腫瘍による症状を軽くしたりします。HER2という目印があるものにくっつくので、従来の薬と比べると、正常な細胞への影響は少ないと考えられています。点滴時のアレルギー様症状などの副作用が起こることがあります。



以下に、トラスツズマブによる治療の副作用をご説明しますがこれらの副作用がすべての方に必ず起こるわけではありません。

| 薬の名前 | 1日目 | 2～21日 |
|--------------------------|---|-------|
| トラスツズマブ (成分名:トラスツズマブ) |  | お休み |

*上の表の21日を1回の治療として繰り返し行います。

*スケジュールは検査結果や患者様の体調で変わることがあります。

一日のスケジュール

| | 点滴時間 | 薬の名前 | 薬の働き |
|---|----------------------|-----------------------|------------------------------|
|  | 初回90分 2回目～ 45分 | 生理食塩水250ml トラスツズマブ | トラスツズマブ; 腫瘍の細胞分裂を抑える。 |
|  | 10分 | 生理食塩水50ml | 生理食塩水; 点滴チューブの洗浄および状態の確認。 |

◎副作用について

●食欲不振・吐き気

程度の差はありますが、ほとんどの方に認められる症状です。

点滴治療の場合には点滴終了後3日程度と言われていました

症状が強い場合は時期に合わせて、吐き気止めのお薬を追加することがあります。

●疲労感

身体がだるく感じたり、疲れやすさを感じる場合があります。多くは点滴後3日間程度と言われていました。この期間は無理をせず休息をとるほか、散歩など気分転換をはかるとよいと言われていました。

●トラスツズマブによる心毒性

心臓に対する副作用があり、心臓がドキドキしたり、息苦しくなったり、むくみが出る場合があります。心臓がドキドキしたり、息苦しくなったりしたときは、医療スタッフに連絡しましょう。心臓機能の低下(100人に2~4人くらいと言われています)

●インフュージョンリアクション

発熱、悪寒、吐き気、頭痛、疼痛、痒み、発疹、咳、血圧上昇、気分不快が起こる場合があります。

ほとんどの場合は点滴をしている時間帯におこりますので点滴中に気分不快等あれば看護師に相談しましょう。特に初回の点滴時に頻度が多く、発生した場合には点滴速度を遅くしたりして対処します。



これら以外の副作用があらわれる場合もありますので、気になる症状があらわれた際には必ず医師、薬剤師または看護師にご相談ください。